



<https://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation

CONTENTS

国際福祉機器展H.C.R. 2017
～15か国・1地域、528社が出展する
最新の福祉機器! ————— 1

H.C.R. 2016 セミナー報告
福祉施設の実践事例発表
～役立つ活かせる工夫とアイデア ————— 2

編集・発行：一般財団法人 保健福祉広報協会
Publisher: Health and Welfare Information Association
住所：〒100-8980
東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798

Information ————— 7-8

H.C.R. 2017へご来場を予定されるみなさま
主催者企画のセミナー「福祉施設の実践事例発表～役立つ活かせる
工夫とアイデア」にご参加ください

エッセイ
高齢者と障害者に適合した製品開発とその提供は、未来社会へのすばらしい投資です

H.C.R. 2016 国際シンポジウム報告書
「障害者の権利の擁護とさらなる社会参加の促進のために
～ノーマライゼーションのこれまでとこれから～」が発表されました!

HCRアプリを使えば、HCRと福祉機器がもっと身近に!
H.C.R. 2017ビジュアルデザインが決まりました
H.C.R. 2017 開催要項



第44回国際福祉機器展H.C.R. 2017は、2017年9月27日(水)から29日(金)の3日間にわたって東京ビッグサイト(東京・江東区有明)にて開催されます。

7月1日の時点で、出展社数は15か国・1地域(昨年からは出展しているイタリア、韓国は継続して、さらに本年はフィンランドからも出展)からの528社・団体となり、出展ブースは1,902小間に達しています。

H.C.R. 2017では、出展社の展示ブースや主催者企画の一層の充実を図っていく一方で、障害のある方々や介護を必要とする方々などの生活の質を支える福祉機器の展示や関連のイベントをゆとりをもってご覧いただくため、会場内のスペースや来場導線などへの配慮についてさらなる取り組みを進めます。

ホール内の機器の展示と併催する国際シンポジウムでは、高齢者等の介護を行う家族等への支援課題に着目し、これまでの取り組みとこれからの展望についてイギリスと日本からのレポートを基に考察するほか、多様化するニーズに対応した各種セミナーや講座、特別企画などを実施する予定です。



1 H.C.R. 2017国際シンポジウム

テーマ 高齢者の家族介護の現状とその支援について～ヤングケアラーやダブルケアなどの課題を考える

主旨 要介護高齢者等の家族介護への支援の取り組みについて、法施策を整備し先駆的な実践を展開しているイギリスから講師を招き、その現状と展望、また日本の現状についての論議を踏まえ、今後あるべき取り組みを考察します。

日時 2017年9月28日(木) 午後1時～4時

会場 東京ビッグサイト 会議棟6階
「605 - 608会議室」

講師 マデレーン・スター氏
(「ケアラースUK」事業開発・イノベーション担当ディレクター)

堀越 栄子氏
(日本女子大学家政学部教授、一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事)



マデレーン・スター氏



堀越 栄子氏

チューター 塚田 典子氏 (日本大学商学部教授)

定員 270名

参加費 1,000円

※参加申込方法など詳細は順次Webサイト (<https://www.hcr.or.jp>) に掲載します

2 H.C.R.セミナー

保健・福祉・介護に関わるテーマのなかから、以下のようなプログラムを会期中3日間にわたり順次開催する予定です。

i) 一般、福祉サービス利用者・家族むけセミナー

- ① はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー

- ② 高齢者むけの手軽な日々の食事
③ 一般家庭の介護で腰痛にならないための基本技術

ii) 福祉職・介護職むけセミナー

- ① 福祉施設の実践事例発表～役立つ活かせる工夫とアイデア
介護福祉分野と障害福祉分野から計10の実践発表を実施。
- ② 介護ロボットの活用で未来を拓く
③ 福祉施設における感染症の知識と対応～知っておきたい感染症対策のポイント

iii) 企業関係者むけセミナー

- ① 高齢者・障害者に役立つ生活支援用品紹介とその開発視点

3 特別企画

① 障害児のための「子ども広場」

子どもむけの福祉機器の集中展示。子ども用機器や療育に関する相談なども実施。

② ふくしの相談コーナー

福祉機器・自助具の相談コーナーを設置。

③ アルテク講座

携帯電話など身近にあるテクノロジー(アルテク)の福祉的活用方法について解説・実演。

④ 福祉機器開発最前線

研究・開発中の機器や新製品、最先端の介護ロボットを紹介。

⑤ 被災地応援コーナー

被災し、復興に取り組みながら生産活動に取り組むセルフ(障害者就労支援施設・事業所)の製品を販売。

※上記のプログラムは現時点での準備の状況ですので、追加や変更の可能性があります。

最新情報と詳細はH.C.R.Web サイト (<https://www.hcr.or.jp>)、メールニュース、プレスリリースなどで、順次お知らせしていく予定です。